体操男子団体が「金」



男子団体総合で優勝を決め、日の丸を手に笑顔の（左から）加藤凌平、白井健三、内村航平、山室光史、田中佑典＝リオデジャネイロ（共同）

柔道 大野「金」、松本「銅」

リオデジャネイロ五輪第4日（8日）体操の男子団体総合決勝は日本が2004年アテネ大会以来3大会ぶりに優勝した。日本はエース内村航平（コナミスポーツ）が安定感抜群の演技を見せ、19歳の白井健三（日体大）も得意の床運動などで活躍した。

柔道は男子73キロ級の大野将平（旭化成）が優勝した。日本柔道勢は今大会で初、男子では2大会ぶりの金メダル。日本選手団の金メダルは競泳男子の萩野公介（東洋大）と合わせ3個となった。柔道女子57キロ級ではロンドン大会覇者の松本薫（ベネシード）が3位決定戦に勝ち、銅メダルを獲得した。



男子73キロ級で優勝し、金メダルを手に笑顔の大野将平



女子57キロ級で3位となり、銅メダルを掲げ笑顔の松本薫

大分合同新聞

創刊1886年（明治19年）
大分合同新聞社
〒870-8605 大分市府内町3-9-15
©大分合同新聞社2016
ニュースのご通報などは
大分☎097-536-2121
FAX097-538-9674
別府☎0977-22-2121
FAX0977-25-1230
朝夕刊 完全連続紙
単独販売の朝刊、夕刊、統合版はありません。

Rio2016

リオ五輪号外

詳しくは本紙とホームページで

Gate ゲート

購読お申し込みは
フリーダイヤル 0120-510-374 合同ミナヨム
または、お近くのプレスセンター（販売店）